

○ 検討会の組織体制とメンバー構成（素案）

1 組織体制

【方向性】

説明会での意見、要望を踏まえ、周辺地域に配慮した仕組みが必要

○ 検討会 + ワーキンググループ（WG）

※地元が受け入れられる案の検討（1次選定）をWGで行う

※WGには原告団の代表に参加いただく

2 メンバー構成

検討会メンバー構成（専門家 WG代表 公募市民 原告団）10名程度
1～2 + 3 + 3 + 2

WGメンバー構成（専門家 周辺住民 原告団）15名程度
1～2 + 8～12 + 3

専門家 1～2名

専門分野としては、市民参画（ファシリテーター）、都市計画、公園、環境、まちづくり、交通等が考えられる

周辺住民

- ① 北川原公園周辺 4 自治会エリア
- ② ①+クリーンセンター地元5自治会エリア
(WG) 8～12名

公募市民 3名～

※9月の広報で募集 ⇒ 10月上旬までに選定

原告団 (WG) 3名程度 (検討会) 1～2名